Photo ふなばし

とくしゅう
PART 1

救急医療先進都市を目指し導入した
高規格救急車のすべて

LANDSCAPE OF FUNABASHI CITY

とくしゅう
PART 2

船橋の風景

鈴身町

- 市政トピックス
- 街角ホットニュース
- WE ARE IN FUNABASHI
- アトリエ訪問
- サークル通信

まちなかの文化財／ふなばしの民話
ペットインタビュー

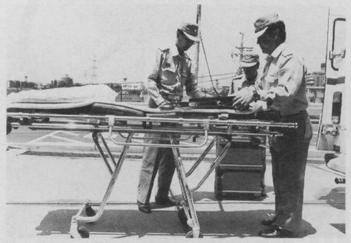
vol. 49
広報ふなばし写真版

とくしゅう
PART 1

救急医療先進都市を目指し導入した高規格救急車のすべて

現行の救急車より大きいにもかかわらず運転しやすいという高規格救急車。最小回転半径も5.5メートルと小回りがきく

高規格救急車は、現行の救急車と比べ、室内高で19cm、室内幅で14cm広い。救急隊員が立ったままの楽な姿勢で応急処置ができるだけでなく、傷病者の頭部および左右からも処置ができるスペースも確保されている



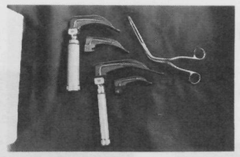
傷病者を乗せるストレッチャー。高さも自由に調節することができる

救急車への出し入れがしやすいストレッチャー

傷病者の血圧、心電図、血中酸素飽和度、心拍数、呼吸数を表示できるモニター。この情報は、搬送先の病院などにファックスなどで送られる

口の中の異物を吸い取る吸引器

気道を確保するための器具などが使用しやすいように整理されている



マギール鉗子(右)と喉頭鏡。気道を確保するための器具

車内には様々な器具が整然と並らべられている

心臓マッサージと人工呼吸を自動的に行うことができる自動式心マッサージ器

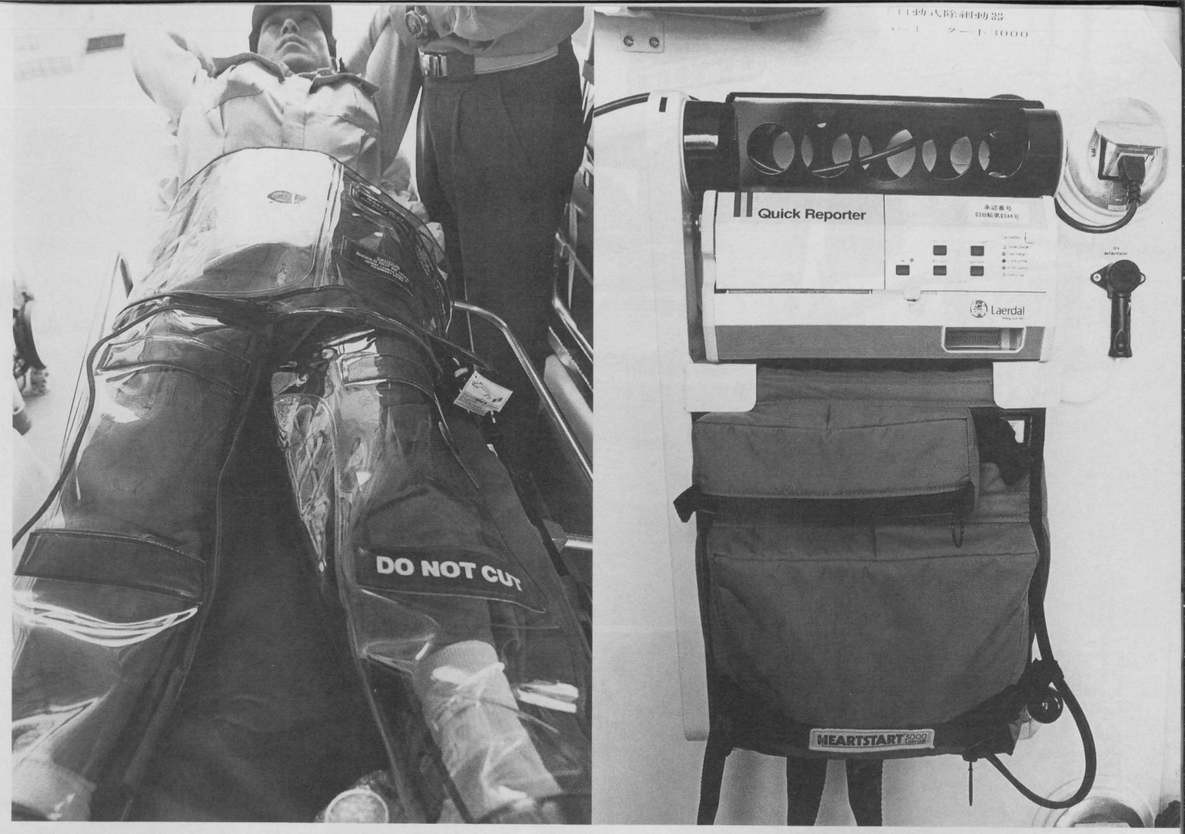
「救急医療先進都市」を目指している船橋市では、船橋市医師会などの協力をいただきながら、平成元年度から「救急医療シンポジウム」を開催するなど、官民一体となって救急医療の充実を図ってきましたが、この特別救急隊の設置により、また一歩前進することになります。さらに、高規格救急車の出動の際、医師に同乗していただき、救急活動をするいわゆるドクターカーについても、現在、その実現に向け船橋市医師会などと協議を進めるなど、今後も、安心して暮らせるまちづくりのため、様々な施策を推進してまいります。

船橋市では、高度な救急処置を行うことができる様々な器材を搭載した高規格救急車を導入しました。これは、平成3年4月に救急救命士法が成立したことや救急隊員の行う応急処置等の基準の一部が改正され、救急隊員が行うことができる応急処置の範囲が拡大されたことから導入したものです。また、高規格救急車に搭乗する救急救命士や救急Ⅱ課程修了者などの養成も平行して進めています。4月19日には「救急救命士」の国家試験が初めて行われ、船橋市消防局の小林美昭司令補が見事合格しました。

これまでは、一刻を争うような重い傷病者の場合でも、人工呼吸や心臓マッサージなど限られた範囲の応急処置を施しながら、いち早く病院に搬送することしかできませんでしたが、特別救急隊に配属される救急救命士は、医師の指示に従いながら、救急車内で点滴や心臓の電気ショック療法などの高度な応急処置を行うことができるので、救命率の向上など様々な効果が期待されます。

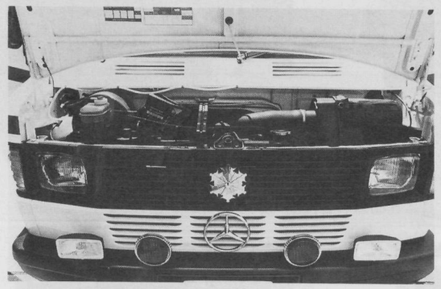
また船橋市は、今年の11月、救急救命士と救急Ⅱ課程修了者をメンバーとした「特別救急隊」を発足させます。特別救急隊は、心肺蘇生を必要とする重い傷病者や傷病者救出に相当な時間を要し、その間に救命上緊急な処置を必要とする場合などに出動するもので、現在、市立医療センター内に建設中の(仮称)特別救急隊待機所が本拠地となります。もちろん高規格救急車も発足と同時に配置されることになります。

半自動式除細動器(4ページ参照)を使用するときには、体の2か所にパッドをあて心臓に電気ショックを与える



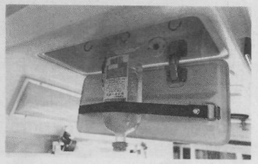
ショックパンツ。出血性ショックによる血圧低下の場合に用いるズボン。腹部と下肢を被い、その部分に空気を送り込み、下半身を圧迫することにより抹消血管抵抗を上げ心拍出量を増加させ血圧を上昇させる

半自動式除細動器。心臓の心室細動などの重い不整脈を感知し、除細動（心臓への電気ショックを行い不整脈を除く）を行う必要ありと警告を発する。その警告を目安にスイッチを押し、除細動を行う。この作業は、救急救命士が医師の指示を受けながら行う

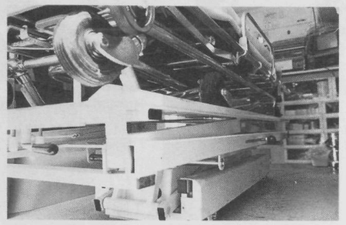


塔載するエンジンは、排気量2,874cc.
5気筒のディーゼルエンジン

高規格救急車の運転席



輸液などを下げるフック



走行中の揺れや衝撃をほとんど吸収する防振ストレッチャー架台

大橋和夫市長に救急救命士の国家試験合格を報告する小林美昭司令補

特別救急隊が今年の11月に発足するまで
一般の救急業務を行っている

LANDSCAPE OF FUNABASHI CITY

船橋の風景

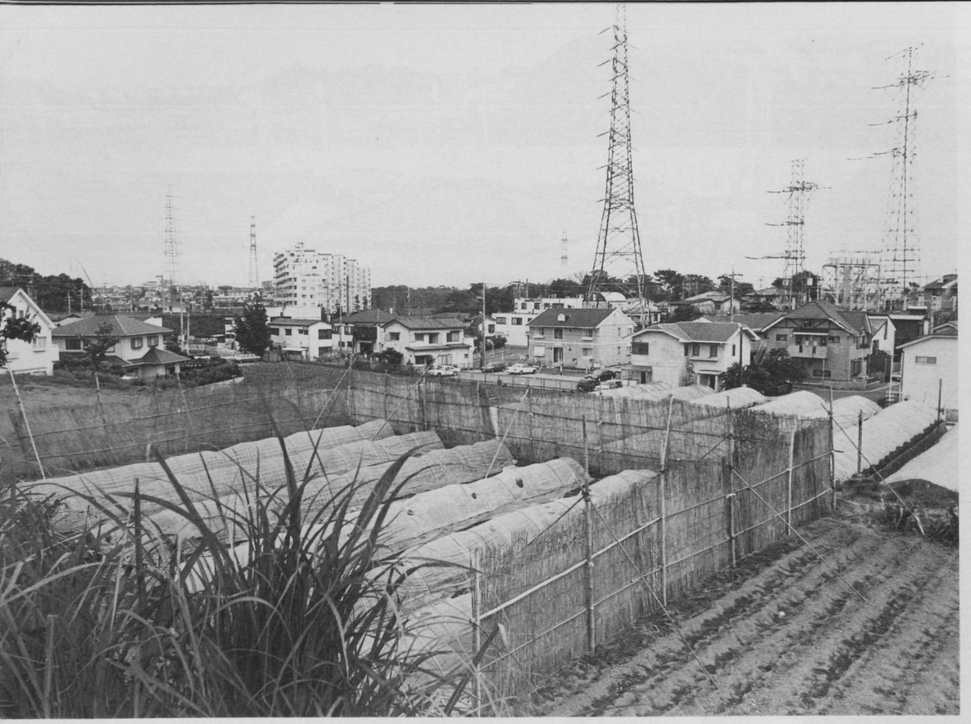
ドリームレース「有馬記念」の舞台となる中山競馬場。その建物も近代的に生まれ変わった

朝もやのジョギングロード。船橋駅北口のからくり時計。東洋一のショッピングセンター・ららぽーと。緑のじゅうたんのようなニンジン畑。ブロンズ像が楽しい海老川13橋。豊かな緑に囲まれた子供たちのフィールド・ワンパク王国など、船橋はいろいろな表情を持っています。

今回の特集では、市内の様々な風景を紹介いたします。見慣れているものや初めて見るものなどあると思いますが、どうぞお楽しみください。

ワンパク王国

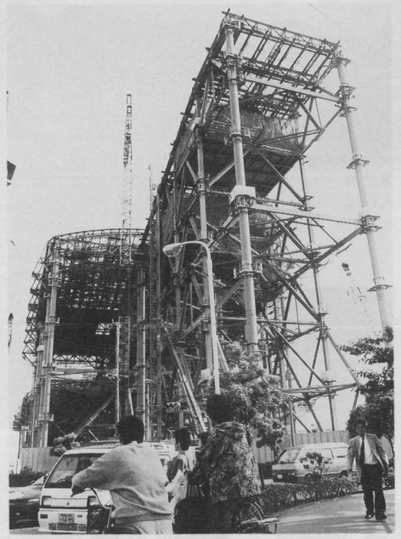
新京成習志野駅前。すぐ近くに社会福祉会館がある



畑の向こうにはおしゃれな住宅街が広がる前貝塚町

一日中人通りが絶えない船橋駅南口。地下３階地上15階の再開発ビルの建設も予定されている

360の専門店が並ぶららぽーと。休日には約13万人の人々が最新の情報を求めてやってくる



船橋のウォーターフロントの風景が変わってきた。来年完成予定、世界最大級の屋内スキー場「ららぽーとスキードーム・ザウス」

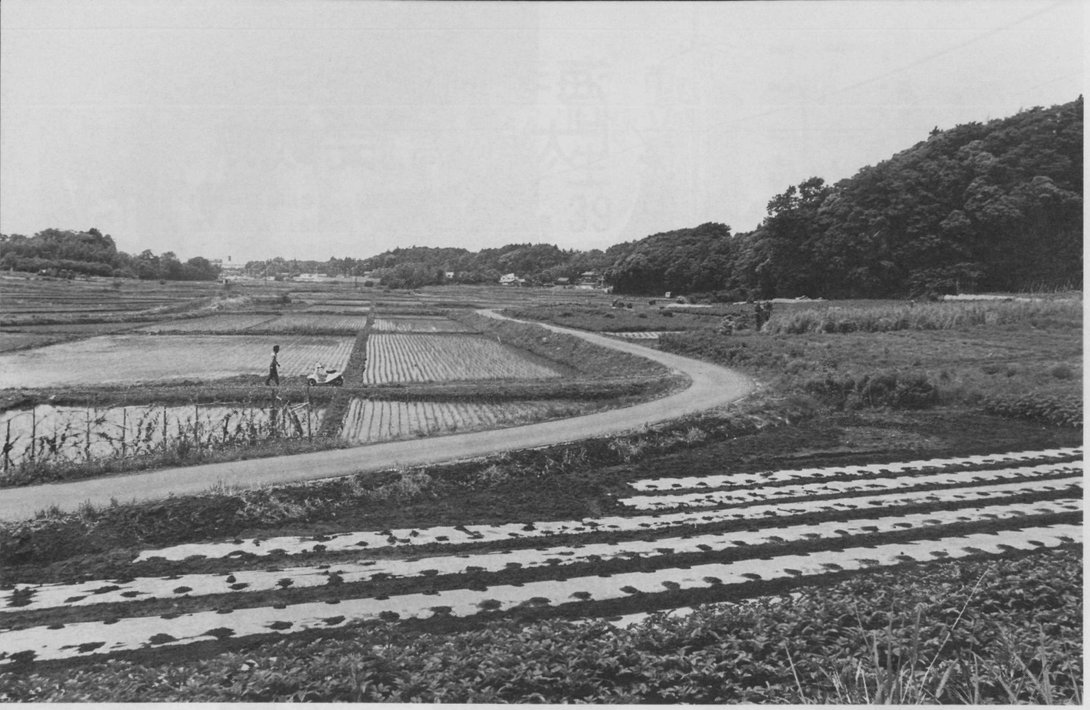
私たちのまち船橋市は、現在人口53万。京葉地区の中核都市としてその重要性を増すとともに、私たちには、生き生きとした様々な表情を見せてくれる躍動的なまちでもあります。

JR船橋駅周辺の大型デパートや歴史のある商店街。若者のスポットとして人気のあるららぽーと。外国船が行き交う船橋港。海老川に架かる楽しい橋々。新京成沿線に広がる団地を中心とした豊かな住宅街。私たちの食生活を支える様々な農産物を生産する農地。豊かな自然が残る北部地区。その自然を生かして造った、子供たちの遊び場ワンパク王国etc…。また、市内に鉄道が9本も走るまちとして、電車のある様々なシーンも見せてくれます。そして、現在もJR西船橋駅から海神、夏見、芝山、習志野台をぬけて八千代に至る10本目の鉄道・東葉高速鉄道の工事が市内各地で進み、ららぽーと近くには、世界最大級の屋内スキー場が、来年の完成に向けて、その威容を現すなど、さらに、新しい船橋の風景も誕生しつつあります。

今年12月の完成に向け急ピッチで再開発ビル。中には、市民ギャラリー、市民文化の発信基地として大きな期待が寄せられている

工事が進む本町２丁目中央街区

平成３年４月に完成した船橋駅北口広場。県内初のワンアイランド方式のバスターミナルを採用し、安全でスムーズに乗り換えができるようになった



田園風景の広がる金堀町付近。休日の散歩コースに最適

飯山満町３丁目付近。近くでは東葉高速鉄道の建設が急ピッチで進められている

全国で屈指の生産量を誇るニンジン。年間の生産高は10,600トンを誇る（旭町）

乗り換え乗降客合わせて、一日54万人が利用するＪＲ西船橋駅

前貝塚町にある調整池。近くでは、第二土地区画整理事業も進められている

習志野台３丁目交差点。建設中の東葉高速鉄道が完成すると、北習志野と大手町は33分で結ばれる

ネギやニンジンなどの畑が広がる高根公民館付近。このあたりは緑がとても豊かで時間がゆっくりと過ぎてゆく

昭和44年に完成した習志野台団地。緑が豊かで公園やテニスコートもある。現在、賃貸分譲合わせて約2,900世帯が居住している

八栄橋近くの海老川。上を通るのは、建設中の東葉高速鉄道

まちなかの文化財

長福寺（八木が谷５）

やぶのたけのこ大のびて　はかまの皮の落ちるころ……少年時代に諳じ、今に愛唱する三木露風「初夏」の詩の冒頭の一節が、ふと口をついて出る季節であり、そんな新緑あふれる自然環境の中に、八木が谷・長福寺（天台宗）はあった。

旧知の住職さんは折悪しく不在。折悪しくとは云ったが、この人、いつも本業以上に地域福祉のボランティア活動に忙しい。

玄関先、梵妻さん（僧侶の奥さんの俗称という）が私を覚えていてくれて、まだお若い息子さん、すでに副住職を務めてらっしゃるそうだが、親しく紹介されて、初対面の挨拶をすることに。

物静かな青年僧と云った風で、当寺の「朝題目夕念仏」に興味を寄せた私に、それが南岳大師の所説に根拠があり、正しいお勤めであることなど、一々経典を開いて説明してくれたものだ。

当寺の一帯はかつて中世・八木が谷城址と伝える。なるほど、古い土塁の跡かと思わせる王子神社の小丘、その裏手の空掘（杉林の山中にも見られる）など、往昔を十分偲ばせている。

墓参者の手向けた香煙が今、濛々と立ち昇っている。かと思うと、忽ち中空に細い煙りを上げている。（文・大木　勲）

寺続きの高台にある王子神社

六地蔵がやさしく出迎えてくれる

市政トピックス

海老川13番目の「太郎橋」完成!!

5月28日、海老川に架かる13番目の橋「太郎橋」が完成、高欄の除幕式が行われました。高欄には、その名のとおり、日本の童話の主人公「桃太郎」「浦島太郎」「金太郎」「ものぐさ太郎」を題材にしたブロンズ像が、それぞれの親柱に設置されています。これで国道14号に架かる船橋橋から海老川ジョギングロード沿いの向田橋まで個性豊かな13の橋が勢ぞろい。海老川沿いを13橋めぐりなんていかがでしょう。

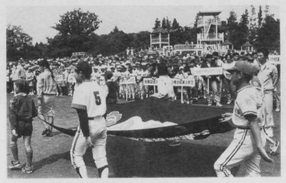
日本の童話をテーマにした「太郎橋」。渡るたびに童話の世界が広がります

ものぐさ太郎

「金太郎」の除幕。写真は右から、ブロンズ像をデザインした牧野圭一さん、大橋和夫市長、伊藤浅由市議会副議長

元気な船橋っ子が大集合!! ワンパク王国

少年少女交歓大会開催



八千人のチビッコが集合

チームワークが決め手の長縄跳び

5月17日、「あつまれ！ワンパクの森'92」をテーマに豊富町のワンパク王国で行われた少年少女交歓大会は、約8,000人の子供たちでにぎわいました。市内の少年少女団体の交流を図るために行われるこの大会も今年で25回目。参加した子供たちは、模擬店や色々な遊びコーナーを楽しんだり、日本一のフィールド・アスレチックに挑戦して、日頃のワンパクぶりを発揮していました。

入場行進で先導を努めたあと、すばらしい演奏を披露してくれた古和釜中学校ブラスバンド部の皆さん

市民ひとことインタビュー

テーマ 梅雨の快適な過ごし方は？

気分転換に映画を見に行ったりします。

阿久津都さん（山野町）

少しぐらいの雨でも公園の中を散歩したりしています。

伊藤桂子さん（行田3）

普段は農作業で忙しいので雨の日はのんびり過ごしています。

古谷健治郎さん（二和西3）
千佳代ちゃん（3歳）

特に梅雨を意識して、やっている事はないですね。

三浦加代子さん（小室町）
里実ちゃん（7歳）

スイミングやデパートの広場で遊ばせます。

酒井富士子さん（薬円台1）
綾香ちゃん（2歳）
遼太郎くん（8か月）

市立看護専門学校 一回生39人が戴帽式

親火から受けたキャンドルの灯の中で誓いの言葉を唱和する看護学生の皆さん

ナイチンゲールの誕生日にあたる5月12日、市立看護専門学校で、昨年入学した第一回生39人の戴帽式が行われました。これは、入学後一年間で基礎を学び、いよいよ臨床実習に入る学生に一つの節目としてナースキャップを授ける儀式。木村康校長のあいさつの後、学生一人ひとりに帽子が被せられ、キャンドルの灯りだけの厳かな雰囲気の中、学生全員でナイチンゲール誓詞を唱和しました。

学生の皆さんは、これから2年間、更に各科目を学び、卒業後は、医療センターをはじめ市内の病院などでの活躍が期待されています。

ナイチンゲール像から親火を受ける

県内で初めて設立された FCS

(財)船橋市中小企業勤労者福祉サービスセンター

平成4年3月、横浜や都内を巡る日帰り旅行が実施され、会員の皆さんは大喜び。FCSの発展と今後の事業に期待が寄せられている

FCSは、中小企業が単独では実施しにくい様々な福利厚生事業を実施して、市内勤労者の福祉の向上と、企業の振興に寄与する目的で船橋市が今年の1月に設立しました。1人月額500円の会費（従業員と事業主が一括加入）で、各種スポーツ大会や旅行会、宿泊施設等利用助成、慶弔金の給付等盛り沢山の事業を実施しています。問合せ☎0474－26－1155

いいものが安いと大好評

おまつり広場がお花畑に グリーン・ミニ・バザール

5月16日と17日、船橋駅北口・おまつり広場でグリーン・ミニ・バザールが行われました。これは、(財)船橋市緑の基金が'92グリーンフェアふなばしの一環として開催しているもので、鉢花や観用植物が勢ぞろいした会場には、このバザールを楽しみにしている方など大勢の皆さんが訪れていました。また、庭土の土壌検査や植物に関する相談コーナーも好評で皆さん熱心に質問していました。

市内23番目 二和ゲートボール場オープン

出来たてのゲートボール場でナイスプレー

市内で23番目となる二和ゲートボール場が完成し、4月24日、開所式が行われました。式では、ゲートボール場開設にご尽力頂いた関口正明さんに感謝状を贈呈した後、ご来賓の皆さんにより始球式が行われました。式終了後、地元の老人クラブの皆さんが、早速試合を行い、新しいコートの感触を楽しんでいました。

ふなばし海浜公園

温水プールで遊ぼう!!

南部清掃工場の余熱を利用した温水プール

25メートルプールで泳ぐもよし、長さ90メートルの二本のウォータースライダーで楽しむもまたよし。

料金（2時間単位）		
	大人（高校生以上）	300円
	小・中学生	150円
	幼児（4歳以上）	100円

注意 スイミングキャップは必ず着用してください。

※浴室、軽運動室、大広間は別料金となります。
※夏期の昼間は流水プールと同時に利用できます。ただし、流水プールの料金となります。くわしくはふなばし海浜公園へ（☎0474(35)0828）

ウォータースライダーは安全のため、信号に従ってスタートしましょう

街角ホットニュース

レンズがとらえた わたしのまちのホットな話題

建造物としては初めての市指定文化財に
二宮神社社殿と旧御馬見所

◀七年祭りで有名な二宮神社。豊かな緑の中、静かなたたずまいを見せる社殿（三山5－20－1）

▶質素な中にも天皇の臨幸にふさわしい風格をもつ旧御馬見所（薬円台3－20－1）

二宮神社社殿と陸上自衛隊第一空挺団の旧御馬見所（現空挺館）が、このほど、建造物では初めて市の文化財に指定されました。

二宮神社の創建はおよそ1200年前、平安初期の弘仁年間と伝えられています。現在の社殿は安永年間（1773年～81年）に再建されたもの。社殿の形式は、江戸時代に流行した「権現造」で、豪華な彫刻が施されています。大正時代には、茅葺から銅板葺屋根に替えられています。

御馬見所は、東京駒場の騎兵実施学校内に1911年（明治44年）に建築されたもので、しばしば同校に行幸された明治天皇が騎兵の演武を総覧するための施設です。騎兵実施学校は校名を「騎兵学校」と改められ、大正5年に駒場から習志野原に移転し、御馬見所も移築されました。

詳しくは文化課☎㊱2898へ

楽しい催しがいっぱい！
西船橋商店会チャリティーバザール

掘り出し物が豊富に並んだＪＲ西船橋駅前の会場

5月23日、西船橋駅北口で西船橋商店会チャリティーバザーが開催されました。日曜雑貨や生花のチャリティー特価での販売や焼きそば、かき氷の模擬店など楽しい催しがいっぱい。中には3千円の缶づめセットが800円などというものもあり、道行く人も思わず足を止めたりと、一日じゅうにぎわっていました。

生で聞く落語は最高!!
にぎやかに第3回大慶山寄席

柳家三太楼さん

柳家三太楼さんと横目家助平さんの熱演に満員の会場は笑いに包まれた

5月16日、大慶山住宅自治会館で大慶山寄席が行われました。これは、地元出身の若手落語家・柳家三太楼さんの話を楽しもうと行われているもので今回で3回目。当日は、柳家三太楼さんと同じ二つ目の横目家助平さんも出演。おなじみの「子褒め」「湯屋番」など二席ずつを熱演、子供からお年寄りまで約100人と満員の会場は笑いに包まれていました。

ふなばしの民話
船橋の地名のいわれ
(一)

文・村上昭三

夏見近くの高台から市街地を望む

むかし、むかし、日本武尊は朝廷に刃向う夷狄を征伐するために、都から東国に向って進軍して来ました。そして、相模国から船で上総国に渡り、やがて下総国に入り、船橋にもやって来ました。

まず海神の土地に上陸しました。そこで、この付近に陣を構え、賊軍と戦いました。しかし、賊軍も負けてなるものかと、総力をあげて激しく抵抗して来ました。季節は梅雨時でした。どうしたことか、この年は日照りが続き、そのため作物の出来が悪いので、気落ちしたこの辺りの人びとの協力が弱く、また食糧の確保にも事欠き、苦しい戦いが続行しました。

この戦況をみた尊は、一まず軍勢を夏見に後退させました。ここで高天原と呼ぶ夏見の高台に登りました。

高台に立った尊は「天の神々様、何とぞ雨を降らせ給え。また、我が軍勢にご加護を与え、勝利をお導き給え」と口の中で呟きながら、一心に祈りました。

尊の祈りは天に通じました。一ときほどして空一面に黒い雨雲が現われ、大雨が降り始めました。今度は、毎日のように雨の日が続きました。余り雨が降り続けるので、道路という道路はすべて水没してしまいました。そこで、賊を攻るのに、徒歩で行くことが出来なくなりました。

これを見ながら、あれやこれやと作戦を煉っていた尊は、最後に「道路が水没しては仕方がない。船を利用するとしよう。皆の者。船を出来るだけ多く用意せよ」と周りの者たちに命じ、付近の湊から沢山の船を確保しました。

それから、船と船を繋ぎ合わせ、これを橋代りとしました。尊の軍勢はこの上を渡り、賊の陣営へ一挙に攻め入りました。これで、戦いは大勝利を得ることが出来ました。この船の橋が起源となり、後年この土地を「船橋」と呼ぶようになったということです。

船橋市自治会連合協議会・会報コンクール
受賞作品10点が選ばれました

受賞作品はどれも力作ぞろい

5月14日、平成4年度船橋市自治会連合協議会会報コンクールの審査が市役所で行われました。このコンクールは、町会・自治会の広報紙発行の普及を目的に、昭和63年度から実施しているもので今年で5回目。審査は、コミュニティタウン紙の編集長、自連協役員の皆さんにより行われ、応募された40団体の作品の中から受賞作品10点が選ばれました。授賞式は、6月7日に開催される船橋市自治会連合協議会の定期総会において行われます。

第23回三山地区市民体育レクリエーション大会開催
2500人が参加

優勝した富士見台町会の皆さん

5月17日、三田中学校グランドで第23回三山地区市民体育レクリエーション大会が行われ、三山地区の皆さん約2500人が玉入れや綱引きなどのゲームを楽しみました。この運動会は、三山地区自治会連合協議会が発足した年から開催されており、事前の全体会議も1回開けば十分なのだそうです。

初夏を思わせるような好天に恵まれたこの日、会場は市民の皆さんで大にぎわい。町会・自治会の部と子供会の部に分かれて、思い切り技や力を競い合いました。なお、優勝は富士見台町会と日軽子供会の皆さん。トロフィーを手に勝利の感動にひたっていました。

天候に恵まれ約2,500人が参加

アトリエ訪問

写真家
北井一夫さん（本中山3丁目）

5月に千葉市内で開かれた写真展も終わり、ほっと一息の北井一夫さん

写真家北井一夫さんの名前を知ったのは昭和50年頃、アサヒカメラでだった。当時の写真界で活躍していた森山大道、中平卓馬、篠山紀信らそうそうたる面々の中で、一人その存在は個性的で輝いて見えた。作品は「村へ」という連載で、毎月全国の村々を訪ねては、その土地の人々のごくありふれた日常生活を10数ページの組み写真で見せるというものだった。

優しくさりげなく、しかし鋭敏な感性に裏打ちされた独特の視点は、見る者に不思議な存在感を持って迫る力強さがあった。この連載は3年半というカメラ雑誌としては超ロングセラーの一つとなり、アマチュアのコンテスト作品も一時はその作風を真似たものが流行する程、全国に多くのいわゆる北井ファンを作る基となった。そしてこの作品は、大方の予想通り第一回の木村伊兵衛賞に輝くこととなった。32歳という若さであった。

その北井さんが何と船橋に住んでいた。一度でよいから会ってみたいと思った。同じ写真ファンで友人の、あるミニコミ紙のK記者に何とかコンタクトを取ってもらい、初めて憧れの人に会った時の感激は今でも忘れることができない。丁度連載が終わって、比較的古作町の家にいる時間も多くなった頃だった。それからKさんと二人、暇をみつけては押しかけて行くといった日々が続いた。

「村へ」より

あれから15年の歳月が流れた。現在の住まいは本中山3丁目。小栗原小学校のやや南側、アパートや住宅が建て込んだ地域で、鉄筋3階建てのマンション一室を事務所兼暗室にしている。

北井さんの仕事はモノクロが多い。これまで多くの写真集や雑誌の仕事をしてきたが、フィルムの現像、引き伸ばしは全て自らの手仕事である。北井さんは今、鳥や昆虫、自然に凝っている。あの「三里塚」（日本写真協会新人賞受賞）から始まった、長い間人の暮らしをじっくりと見据えてきた北井さんが、今なぜ虫や植物なのだろうか。

昨年9月から11月まで、東京都写真美術館で「日本の写真1970年代」という北井さんを含めた70年代を代表する16名の作家たちの写真展が開かれた。そしてこの夏には宮城県立美術館で「戦後写真と東北Ⅱ」という写真展が開催され、北井さんの収蔵写真作品も6人の写真家とともに展示される。

「一昨年あたりからネ、いろいろ見て自分の写真がどんなものだったかをよく見極めてみようと思ってネ。まぁそれまでは少し人から離れてみようかなということかナ」。

この4月に出版された福田克彦氏（文章）との共著「自然流日本酒読本」も二十日間余りで完売、増刷。この夏には、その自然をテーマとした「新鳥獣戯画」という写真集が出版され、その写真展も10月に東京で開催される。まだまだ自然を求めての旅は続きそうではある。

みんなの広場 サークル通信

海老が作公民館 俳句サークルあゆみ

公民館の講習会をきっかけにスタートして今年で11年目。現在19名の会員の方が第1・3水曜日に集まり勉強会を開いています。勉強会では会員の皆さんから寄せられた句を読み上げ、挙手で票を入れ、その後、先生の講評と進みます。その時の票の数が喜びになり、励みにもなるそうです。主な発表の場は市の広報紙で、今までに年間優秀賞に選ばれた方もいるそうです。また、千葉の歴史や民族文化などを混じえた講評も人気の一つ。「とても雰囲気が良くて、毎回楽しみにしています」と皆さん。あなたも気軽な気持ちで始めてみませんか。

（連絡先：平栗瑞枝　☎65－7961）

テーマは決めずに自由に俳句を作っています

いい句には票が多く入ります

気合いが入る「形」のけい古

のびのびとけい古するのがモットーです

飯山満公民館 船橋水曜会

「けい古も楽しいし、体力も付いたみたいです」と元気に話してくれたのは、11歳の女の子小林さん。お父さんに進められてこの会に入り、もう3年になるそうです。師範は、空手の道に進んで30年になるという森田さん。自分の持つ時間を少しでも地元のために役立てたいと、昭和60年から飯山満公民館で空手教室の指導を始めました。現在会員は、小学生から成人まで20名。けい古は明るくのびのびと行い、心身の鍛錬はもちろんのこと、礼節や言葉づかいなどにも力を入れています。スポーツとして技を磨くだけでなく、自分という人間を磨くためにも、いっしょに汗を流してみませんか。

（連絡先：森口正樹　☎63－1380）

型にはまらない男の料理を作っています

今回のメニューのピザの生地づくり

宮本公民館 宮本メンズクッカーズ

昨年9月に公民館の講習会がきっかけで発足したこの会。現在15名の皆さんが月1回土曜日に集まり色々な料理にチャレンジしています。この会の特徴は、その名の通り男性だけの料理教室という点。料理教室といっても、講師から教わるのではなく、みんなが本で調べたり、お店に行って秘伝の方法を聞いて来たりと本当の手作り料理。ジャンルもスパゲティーやタイ料理、イナダのお造りと何でもやっています。「料理を通して地域の人とのコミュニケーションを大切にしています」と会長の小林さん。また、皆さん家庭でその腕前を披露して、お父さんの株を上げているそうです。

（連絡先：小林邦彦　☎22－0055）

ペットインタビュー

いつも朝夕2回の散歩が楽しみです

なまえ
ジョン君
（オス）

オーナー
内海房栄さん
（山手2）

僕はジョン。今から10年ぐらい前に、この家の娘さんに拾われて来たんだ。生まれて少し経っていたんだけど、ひどい栄養失調で、目も開いてないし、歯も生えてなかったんだ。そんな僕に、専用のカルシウム入りミルクを飲ませてくれて、とても優しくしてもらったんだ。それからも、時々夜中に発作を起こして奥様に病院に通れて行ってもらったりして、「苦労のかけっぱなしだナ」なんて思ったりするんだけど。でも、みんな優しくしてくれるから、つい甘えちゃうんだよな。ここの娘さんなんかも獣医学校に行く位い僕たちの事を大事にしてくれるし。僕は本当に、ここの家に拾われて来て、ここの家族の一員として暮らせて幸せだナーと思ってるんだ。

WE ARE IN FUNABASHI

ART

これからも独自の表現を追求していきたいですね

服部　碧さん（湊町2）

「頭の中で構想を練っているときも制作しているときも楽しいですね。もちろん思ったように仕上がったときが一番ですけど」。服部さんと切り絵との出会いは、またま見ていたテレビ。「切り絵教室のお知らせをちょうどやっていまして。一生の趣味にしていこうと思って始めました。もう20年になりますね」一時、プロとして雑誌の仕事にも携わったことも。現在は、毎年開催される「切り絵美術展」への出品作品の制作を中心に活動しています。光を描きたいという服部さんの作品は、色使いがとても独特で絵画的。素材は紙だけなので、使いたい色の紙を探すのが一苦労とか。形式にとらわれぬ独自の表現をしていきたいですねと話す服部さん。今年の出品作の構想を練る楽しい時間がそろそろやってきます。

まいふぁっしょん

仕事柄、動きやすい服装が多いですね

中村弘子さん（新高根6）

「ゆったりと着られるものが好きですね。色は、パステルカラーは似合わないので避けています」

ららぽーと内にある絵画などを扱うお店で店長を務める中村さんは、仕事柄、額などを扱うことも多く、動きやすい服装が多いとか。

今日は、黒地にベージュの柄が入ったゆったりとしたブラウスにサマーウールのグレーのパンツ。ジャケットは麻素材で、ベージュの濃淡のチェックがシックで初夏らしい組み合わせ。

服は、東京で買うことが多いという中村さん。ショートヘアーの耳元で揺れるイヤリングが落ち着いたコーディネートの中で爽やかさを演出しています。

あい・らぶ・ふなばし

日本の文化や言葉についてブラジルで教えるのが夢です

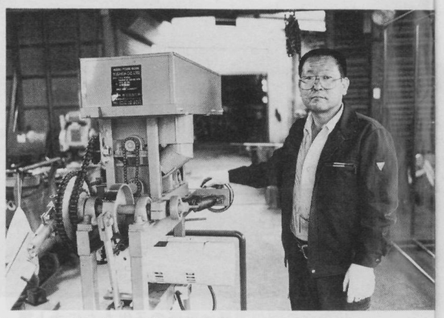
野口正恵さん（本郷町）

「日本語は、特に漢字や敬語の使い方が難かしいですネ」と笑顔でおっしゃる野口さんは、ブラジルご出身の日系2世。一昨年の9月に来日、都内の会社にお勤めの傍ら、市内の日本語学校に通っています。ご両親の生まれ育った日本の文化や言葉などについて勉強するのが来日の目的。「船橋は、買い物など便利で、とても住みやすいまちだと思います」。趣味は陶芸。市内の公民館サークルにも通っていたとか。また、旅行が好きで、この4月には南九州を楽しんできたそうです。日本語は、日常会話はもちろん、テレビ番組も理解できるようになりました。母国で国語の先生をしていたという野口さん。「将来は、ブラジルで日本語や日本で学んだ文化や習慣などを教えることができればいいですね」と目を輝かせていました。

ご主人

世界最高速171キロのピッチングマシンを製作する

㈱吉田加工所
吉田　義さん（三咲3）
☎(49)2302



日本プロ野球全球団で140台、また、アメリカ大リーグ14球団で50台が使用されており、最高速度は170キロで世界一。球団関係者からは「芸術品」と絶賛されているピッチングマシンが、三咲で作られています。

26歳のとき、吉田さんは母校御滝中の野球部でコーチとして後輩の指導に当たっていました。あるとき、「機械を使って練習すればもっと上達するはずだ」と考え、独学でマシン作りを開始。一号機は一週間で完成しました。やがて、正確で信頼性が高いと評判になり、以来22年間この道ひとすじに打ち込んでいます。

「私のピッチングマシンには、魂が入ってるんですよ。このマシンでバッティング練習を重ね、一日も早くいい選手に育って欲しい、そう願いながら組み立てていますからね。」

将来は、子供たちのために野球広場を作ったり、東京ドームに障害をもった子供たちを連れて行きプロ野球を見せたいと熱く語る吉田さん。

その日を夢に見ながら、休日返上でマシン作りに取り組んでいます。

あとがき

◇Photoふなばしは、町会・自治会の皆さんのご協力により各世帯に配布していただいております。この欄を借りて厚くお礼申し上げます。また、町会・自治会を結成されていない皆さんには、市内5か所の出張所や各公民館に置いてありますので、よろしくお願いいたします。さて、街角ホットニュース（12～13ページ）では、市内各地の様々なニュースを紹介させていただいております。お祭りやバザー、運動会など情報がありましたら、お気軽に広報課までご連絡ください。

工事現場にクジラが出現（湊町2丁目のビル工事現場）

広報課☎36 2015

人形よ安らかに　人形供養

松が丘町会自治会連合会

たくさんの人形が供養された

5月31日、西割会館で人形供養が行われました。これは、松が丘町会自治会連合会が計画したもので、会場には沢山の人形が持ち込まれ、参加した皆さんも僧りょの読経に手を合わしていました。

散策に最適な藤原市民の森

牧の里公園の遊具は近所の子供たちに大人気

緑豊かなまちづくりを進めている船橋市に、このほど、新しい公園と市民の森が完成しました。丸山1丁目にできた牧の里公園は、広さが3400平方メートル。全面に芝生が張られ、子供たちが大好きなロープスライダーやブランコなどの遊具も充実しています。周囲には、サルスベリやシャクナゲ、ツツジなどが植えられてるほか、四季折々の花を楽しめる花壇もあり、皆さんの憩いのスポットになっています。また、法田中学校正面にできた藤原市民の森は、2万1480平方メートルの広さがあり、主に、落葉樹のクヌギが茂っています。利用しやすいように下草を刈り取り、散策路、ベンチを設けてあります。柔らかな木もれ日の中、散策を楽しんではいかがですか。

スポーツで健康ふなばし こんにちは…

広報番組インフォメーション

千葉テレビ(46ch)

- 船橋だより　毎月最終日曜日の正午から15分（1月の特別番組は、1日の午前11時30分から正午まで）
- タウンガイド　毎週月曜日午後5時30分から

FCN(船橋ケーブルネットワーク)

- ふなばしCITY NEWS（木曜日を除く毎日15分）
  放送時間　(月)午後4時～　(火)午後2時～　(水)午後12時～
  (金)午前10時～　(土)午前11時30分～　午後8時30分～
  (日)午前11時30分～　午後8時30分～

bay-fm(78MHz)

- フナバシ・タウンクルーズ　毎週土・日曜日午前7時55分から

NHK・文字放送(542#)

- ふなばしCITY NEWS（毎日放映）

電光掲示板(JR船橋駅南口)

- ふなばしCITY NEWS（毎日放映）

問合せ／広報課☎㊱2015

PHOTOふなばし　第49号　発行　船橋市　平成4年5月　編集　船橋市広報課　印刷　㈱総合印刷新報社